

■ 公共施設再配置市民ワークショップを開催しました！

本市が進める公共施設マネジメント^{※1}の取り組みを広く知っていただき、将来に向けて、公共施設をどのように再配置^{※2}して行くべきなのかを考えていただくため、市民ワークショップを開催しました。

● 開催概要

- 開催日時 : 平成 30 年 3 月 17 日 (土) 9:30-12:00
 場 所 : 甲府市役所本庁舎 4 階 大会議室(防災対策室)
 参加者 : 34 名

第 1 部 公共施設マネジメント概論 公共施設を取り巻く現状 再配置の取り組みと他市事例の紹介	(約 20 分)
第 2 部 ワークショップ 発表	(約 100 分)

※1 公共施設等マネジメントとは

本市では、市が保有するすべての公共施設等の状況を把握し、経営的かつ長期的な視点で再配置等を行い、財政支出の削減等を図る一連の取り組みを「公共施設等マネジメント」と定義しています。

※2 再配置とは

本市では、公共施設の複合化や集約化等による施設総量の適正化、老朽化対策や耐震改修及び予防保全の実施等による施設の長寿命化、民間活用及びコスト最適化等による施設運営の効率化を図ることを「再配置」と定義しています。

1. 第 1 部 公共施設マネジメント概論

1) 全国及び甲府市の公共施設を取り巻く現状

公共施設の老朽化等に伴う重大事故が全国各地で発生し、これまで以上に適切な維持管理が求められている中、本市では、多くの公共施設が建替時期を迎えようとしており、今後、すべての施設を安全に維持していくためには、財政的に厳しい状況であること及び公共施設等マネジメントを進める必要があることを説明しました。

2) 再配置の取り組みと他市事例の紹介

平成 28 年 3 月に策定した「甲府市公共施設等総合管理計画」では、今後 30 年間で 31%の施設総量を削減していくことを目標としており、施設の再配置に向け、次の基本理念や基本方針に基づきながら、目標の達成を目指していくことを説明しました。

■ **基本理念** 次の世代に負担をかけず、安心して快適に利用できる施設に再配置する

- **基本方針**
1. 適切なサービスを維持し、施設総量を適正化する
 2. 公共施設の安全を確保し、既存施設を最大限活用する
 3. 市民や民間事業者と連携し、効率的・効果的な管理運営を実施する

《他市事例》

具体的な再配置方策として、6つの取り組み^{※3}があることを、他市の事例とあわせながら紹介しました。

視点	自治体	事例概要
施設総量の適正化	千葉県 市川市	【市川市立第七中学校校舎・給食室・公会堂整備等並びに保育所整備事業】 学校校舎の建替え時に既存施設を複合化
	茨城県 県中央地域	【いばらき県中央地域9市町村広域連携事業】 市町村の行政の効率化と均衡ある発展の促進を目的に9市町村が連携と協力のもと、広域連携事業を実施
施設の長寿命化	長野県 岡谷市	【学校長寿命化】 劣化設備の更新等と併せた快適な環境づくり
効率的な施設運営	岩手県 柴波町	【オガール紫波】 官民合築によって町に経済活動が波及する仕組みづくり
	神奈川県 横浜市	【市立保育所民間移管事業】 民間の力の活用による保育環境の改善

※3 具体的な再配置方策として「①集約化、複合化、類似機能の統合」、「②廃止、更新時の減築」、「③広域連携」、「④長寿命化」、「⑤管理運営の委託等」、「⑥民間施設等の活用、民間事業者との連携」の6つの取り組みがあります。

2. 第2部 ワークショップ

1) ワークショップ

甲府市の公共施設のうち代表的な15分類について、グループに分かれ、施設分類ごとに望ましい再配置方策を検討していただき、選択した理由等をグループでまとめていただきました。その後、各グループにおいて発表してもらいました。次表に、各グループで発表された、内容や、主な意見について抜粋したものを掲載しています。



＜グループワーク結果＞

分類	発表された再配置手法	主な意見（一部抜粋）
市民センター	<ul style="list-style-type: none"> 集約化、複合化、類似機能の統合 廃止、更新時の減築 	<ul style="list-style-type: none"> 複合化して、もっと多くの証明書類を発行できるようにしてほしい。 必要な施設だが、利用しない部屋があるので、減築等したほうがよい。 サービスを充実して、利用料をいただいた方がよい。 マイナンバーカードを普及させて、窓口業務の集約を図る。使っていない施設は減らし、使い方改革を行う。
地域公民館・悠遊館	<ul style="list-style-type: none"> 集約化、複合化、類似機能の統合 廃止、更新時の減築 	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の核となる施設のため、最小限の配置は必要である。施設機能は複合化して、利便性を上げる。 地域住民の集まりの場になっているので、お年寄りなどのために、集約はせず長寿命化するのがよい。
市民会館	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携 長寿命化 	<ul style="list-style-type: none"> 隣接市町村に類似施設が多数あるので、交通ネットワークを考慮して、連携していくことが望まれる。 民間に入ってもらい、カフェなど利用率を上げる仕組みを作るべき。有効利用しないと施設がもったいない。
図書館	<ul style="list-style-type: none"> 管理運営の委託等 広域連携 	<ul style="list-style-type: none"> 民間の力を借りて、カフェ併設など行政ではできないサービスを提供してほしい。また、民間委託した方が、高齢者や子供のニーズに合ったサービスを提供出来ると思う。
博物館等	<ul style="list-style-type: none"> 集約化、複合化、類似機能の統合 廃止、更新時の減築 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財は重要だが、アトリエや工房など開放している施設については減築してもよい。 利用者数が少ないという理由で採算が取れないなら、廃止すべきと考えられる。

分類	発表された再配置手法	主な意見（一部抜粋）
		<ul style="list-style-type: none"> ・博物館は歴史を残しておく意味でも必要である。ただ、市で負担になるのであれば、広域連携によって支えても良いと思う。
スポーツ広場・施設	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携 ・集約化、複合化、類似機能の統合 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災的観点から地区に空地は必要である。複合化で利便性を高めるのがよい。 ・市だけが負担を請け負うのは大変であり、他の市町村からも集まる憩いの場でもあるため、広域連携を行っていくべき。
キャンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設等の活用、民間事業者との連携 ・管理運営の委託等 	<ul style="list-style-type: none"> ・レジャーなどで利用する場なので、民間に委託するのがよい。 ・夏場しか利用できないという点で、もっと減らしても良いと思う。山場にあるので、冬場は寒くて利用者はいないと思う。
勤労会館	<ul style="list-style-type: none"> ・廃止、更新時の減築 ・集約化、複合化、類似機能の統合 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合市民会館など、他施設に集約できるのではないかな。 ・利用目的が不明瞭であり、廃止も考えられる。
小学校・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化、複合化、類似機能の統合 ・長寿命化 	<ul style="list-style-type: none"> ・プールがどこもボロボロなので、スポーツ施設を利用して減築することが考えられる。 ・距離が近い小中学校もあるので集約できるのではないかな。ただし、集約しすぎると避難場所がなくなるデメリットもある。 ・デイサービスと複合化し、子供と大人のふれ合う機会を増やす。 ・地区の核となる施設であり、存続させてほしい。長寿命化して多目的に利用することも可能ではないかな。 ・空き教室等を有効利用すれば良い。防犯面の心配もあるが、多くの人の目があることが大事である。
保育所	<ul style="list-style-type: none"> ・民間施設等の活用、民間事業者との連携 ・集約化、複合化、類似機能の統合 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間の保育所の数のほうが多く、民間に任せられる。また、民間の方が共稼ぎに合った効率的な運営が出来る。 ・保育所が足りないので隣町との連携も必要。広域化して、働いている所と近い保育所に入れれば楽になる。 ・妊婦の教育、ケアも含む広域の子育て支援センターを併設する。
児童館・児童センター	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化、複合化、類似機能の統合 ・長寿命化 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育センター、児童館、放課後児童クラブは複合化して一緒にできないかな。 ・午前中は高齢者が利用するなど、時間で分けて活用できないかな。 ・学校の空き教室の利用も考えられる。
幼児教育センター	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化、複合化、類似機能の統合 ・廃止、更新時の減築 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育センター、児童館、放課後児童クラブは複合化して一緒にできないかな。親としては、似た施設が集まっている方がよい。 ・利用が減ってきている上、職員不足が課題なのであれば、他の施設に集約するのがよい。 ・利用者も少なくあまり有効に活用されていない。また、スマホが普及して相談はネットでできるので廃止も考えられる。残す必要性があれば、民間委託を考える。
放課後児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化、複合化、類似機能の統合 ・民間施設等の活用、民間事業者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育センター、児童館、放課後児童クラブは複合化して一緒にできないかな。 ・午前は高齢者、午後は子どもが使うといった活用が考えられる。 ・地域の方の協力も得て、もっと活発な運営が必要。学校内で空教室を貸していただけるとよい。 ・スペースに限界がある。複合施設にしてスペースを確保する。
老人福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化、複合化、類似機能の統合 ・民間施設等の活用、民間事業者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センターと複合化、もしくは民間に任せられる。 ・利用者のことを熟知しているようなデイサービスの民間施設と連携している方が、高齢者にとってよいのではないかな。
市庁舎・支所	<ul style="list-style-type: none"> ・集約化、複合化、類似機能の統合 ・長寿命化 	<ul style="list-style-type: none"> ・支所は、支所機能は残して他の機能を集約化する。ただし、上九一色支所はコンビニ交付といっても、近くにコンビニがない。 ・本庁舎は、パスポート申請など、県との協力・連携ができるのではないかな。 ・スペース不足については、複合化するなどして、外部の使えるスペースを活用していく。

2) 総括

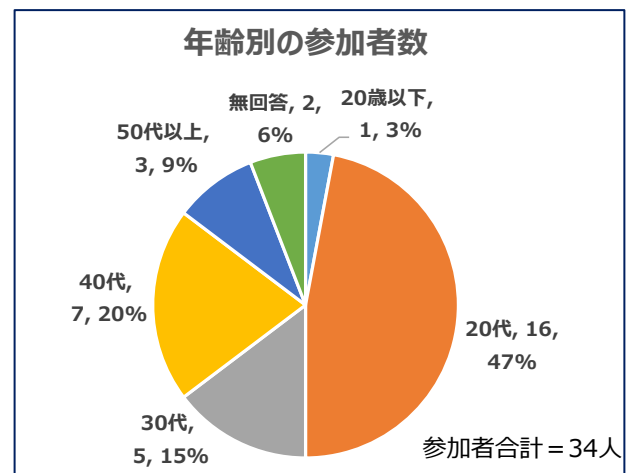
公共施設の再配置に向けた基本的な考え方（基本理念および基本方針）を説明し、再配置の最終的な目的は施設総量の削減ではなく、公共施設の質と量の見直し魅力的な「まちづくり」へ展開していくこと、市民・民間事業者・行政が三位一体となって公共施設マネジメントを進めていくことの必要性を呼びかけました。



3. 参加者アンケート

今回のワークショップは、20代の若い世代を中心に参加いただきました。また、ワークショップ終了後に実施した参加者アンケートでは、公共施設について考える有意義な時間であったという感想をいただくことができました。他にも、自分が知らない施設が多いことを実感した、市民として公共施設のあり方について、今後も考えていきたいという感想もいただきました。

なお、公共施設の再配置とあわせ、公共交通の整備や施設のPR、まちづくりとの連携を進める必要があるという意見もいただきました。



《ワークショップの感想（主なものを抜粋）》

- ・とても有意義な時間だった。意見を少しでも反映してくれたらありがたい。
- ・自分の知らない公共施設があり、その利用者の少ない施設についてのあり方を考える良い機会になった。
- ・市民として公共施設に対するアンテナを立て、今後のあり方について考えていきたい。
- ・難しい課題なので、このようなワークショップを継続していくことが重要だと思う。

《その他の再配置のアイデア（主なものを抜粋）》

- ・民間活用にあたっては、収益が上がるのが最低条件となるので、市のみならず、広域をマーケットとしてみる必要があると思う。
- ・市民生活に最低限必要な公共施設を減らす場合、行政サービス維持のため、公共交通の再構築、交通網整備も含めて考えてもらいたい。
- ・車社会なので、駐車場確保、又、市内巡回バスを活用して、高齢の方でも利用しやすいようにする。
- ・利用するにあたり、どこにどのような施設があるのかを知らない人が多いと思う。イベントを開催して、その施設のPR等が必要。
- ・公共施設を持っている部等が、建物単体で施設の整備を行っている気がする。「まち」として地域をどのようにするかを検討し、施設の再配置等を行ってほしい。
- ・山梨県の県庁所在地であり中核市となる市ですので、効率性を重視した再配置を最優先にした方が良いと思う。